

津金だけじゃないよ、 須玉の鰻絵

鰻絵巡りシリーズ・須玉編

・距離 約15km

・所要時間 4時間30分

・スタート・フィニッシュ

須玉ふれあい館駐車場

・コース

須玉ふれあい館駐車場

↓
若神子鰻絵2件

↓
大蔵新田鰻絵2件

↓
北杜市役所(トイレ)

↓
題目大宝塔と大豆生田のヒイラギ

↓
大豆生田の鰻絵2件

↓
藤田の鰻絵1件

↓
大蔵の鰻絵2件

↓
おいしい市場(昼食・トイレ)

↓
味噌なめ地蔵

↓
小倉の鰻絵2件

↓
若神子の鰻絵1件

↓
ふれあい館駐車場



● 鰻絵の場所

味噌なめ地蔵

おいしい市場
(昼食・トイレ)

ふれあい館
(集合・解散)

題目大宝塔と
大豆生田のヒイラギ

旧須玉町は増富・江草・多摩・穂足・若神子・津金の6旧村が合併した、県内では早川町に次ぐ広さの町でした。その須玉町の鰻絵と言えば鰻絵職人：三井貴男さんがいた津金が有名ですが、他の地域にも職人さんがいて町内20カ所あまりに鰻絵を残しています。ここでは若神子・穂足・多摩の14カ所の鰻絵を巡ります。この地域の鰻絵は「松に鷹」が多く描かれ、七福神をあしらったものは見られません。後半で見えるかつての菓子屋さんの看板として建物の壁に塗り込まれた「風月堂」の鰻絵看板はなかなかの力作・大作です。以下このコースで見ることができる鰻絵をいくつか紹介します。



① 「松に鷹」、羽を広げたこんな構図が多く見られます。



④ 将棋をかたどった鰻絵は珍しい。しかも王将ではなく「金将」、将棋の好きな人だったんでしょうね。



⑥ こちらは蔵ではなく住まいの壁に描かれているもので、かなり大きな鰻絵。「松に鷹」、そして左には山の連なり？



② 昭和20年代に現在のこの家のご主人さんが嫁をとるということで蔵を塗り替えて鰻絵を施したのだそうです。「波で洗う岩場の亀に月」、配色もなかなかです。境の沢の職人さんの作だとうかがいました。



⑤ 古さを感じさせる鰻絵、「竹に鶯」は珍しい。



⑧ 明るく新しい雰囲気「松に鷹」。地元(若神子)の左官さんによるもの。100年ほど前の作品が色あせたので、30年ほど前に手を入れてもらったそうです。その時蔵を立て直そうかとも考えたのだけれども、「今は蔵を造る大工さんがいなくなっているんだよ」と言われて今までの蔵に手を入れたのだそうです。



③ 比較的新しそうな作品。白地に単色ではありますが、濃淡を入れていいに描かれています。丑鼻周りの装飾もきれい。



⑦ たたみ一畳大もあろうかという大きな鰻絵。かつての菓子・パン屋さんの母屋2階の壁に描かれています。かつてはここで製造したパンや菓子を上流地域に行商に行っていたとのこと。当時、すぐ道向かいに住まいのあった職人さんの作だそうです。津金にはこの三日月だけの鰻絵がありますが、同じ職人さんの仕事でしょうか。